

事業所名 グループホーム「さいわいの郷」

日付 平成 20年 4月 9日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 薬剤師・介護支援専門員

介護経験歴 7年

自主評価結果を見る (工事中)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)(記述式)

職員間で介護の方法がよく統一されていました。入居して間がない方は特に落ち着くまで、どのような言葉かけをするか、どのような対応をとるか話し合いをきちんと行い、職員間で取り決めて実行に移していました。家族にも伝え、協力してもらっています。動き回って落ち着かない入居者や足元がおぼつかない入居者に対しても、全職員は入居者が不快にならないようにそっと側について、行動を見守っています。また、日誌や会議の記録は丁寧に書面に残されていて、今後の方針に役立つ事柄もたくさん記載されていました。

運営推進会議を活用し、グループホームのことで、入居者のことを理解してもらおうと努力しています。地域の集まりで、職員が講演者として参加し、さらに根強くアピールしています。隣接した公民館の利用者がグループホームに来て入居者と交流してくれます。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

入居者の状態や介護方針をグループホームとしては家族にしっかり伝えているにも関わらず、アンケートの結果を見ると理解していない家族中にもいるようです。これを期にさらに家族の方々と理解を深められるよう密接な関係を作ってみましょう。

職員によっては食事の最中に片づけをしている場面が見られました。周りの入居者にも気配りや心配りが必要なので、もう少しゆったりとした環境に近づけたらさらに良くなると思います。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>入居者も楽しく元気に、また、地域全体も元気になってもらいたいと考えています。グループホームを地域の方々に理解してもらい、地域の中に入って行きたいと、運営推進会議でよく話をし、地域から理解を得ようと努力しています。また、地域の集まりで職員が介護に付いて講演などを行っています。</p> <p>入居者の方にはグループホームでやりたいことをしてもらいたいと考えています。昼と夕食の時間は全員で食べますが、朝食に関してはそれぞれが起床してきた時間に食事を行っています。午前には体操、午後にレクリエーションをして体や頭を使うプログラムを実行していますが、決して無理強いをせず、自分でグループホーム内を歩く人、手すりを利用して足上げをする方などそれぞれの入居者に任せています。職員はそれをしっかりと見守っています。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>帰宅願望の強い入居者もいるようですが、職員は言葉かけをしっかりと行い、接する時間を多くすることで、よく入居者と話をしています。また食事と一緒に、場合によっては家族の面会を控えてもらうなどの対応を取ることもあるようです。歩き回る方には、職員がさり気なく後から着いて行きます。決して行動を抑えるようなことはしていません。どの職員もよく入居者の事を理解して見守っています。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>排泄に関しては特に気をつけています。入居者にも羞恥心があるので、トイレへの誘導、失禁時などの言葉かけは他の入居者に分らないよう配慮し、プライドを傷つけないよう考えて行動しています。また、居室内はプライベートな空間になるので、入るときには必ずノックし、他の入居者から見られないように閉めることを心がけています。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>・居室内で転倒することがあるので、職員は見守りを強化したり、センサ-を付けるなどして対策をとっています。</p> <p>・外部での研修会で勉強した内容を毎月のカンファレンスの中で職員に伝え、レベルアップを図っています。</p> <p>・各職員に質の向上にむけた資格を取るよう勧めホーム全体でバックアップしています。</p>		